



写真は 川崎市中原区等々力緑地公園 4月3日撮影

平成28年度(第59回)神奈川県溶接コンクール結果報告

平成28年度(第59回)神奈川県溶接技術コンクールは下記により開催されました。

審査は、外観試験、X線透過試験、曲げ試験について審査を行い下記のように入賞者が決定しました。

結果について以下のようにお知らせいたします。

尚、被覆アーク溶接1位・内谷瑛さん、2位・根崎弘崇さん、炭酸ガスアーク溶接1位・中神貴紘さん、2位・浅野宰さんの4名は平成28年度の全国溶接技術競技会の神奈川県代表選手として参加します。

また、表彰式は平成28年5月26日(木)に開催されます。

- ・主催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 平成28年2月12日(金)
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加者 被覆アーク溶接の部 9名
炭酸ガスアーク溶接の部 21名
合計参加者 30名

優勝 神奈川県知事賞・神奈川県溶接協会会長賞(優秀賞)

被覆アーク溶接の部

団体賞

(株)IIH 横浜工場

個人賞 優勝

内谷 瑛

炭酸ガスアーク溶接の部

団体賞

(株)東芝京浜事業所

個人賞 優勝

中神貴紘



挨拶をされる県庁宮崎副課長



平野会長

入賞者(得点800点満点)

(被覆アーク溶接) 1位~5位は優秀賞です(760点以上)、6位~8位は優良賞(720点以上)です。

- | | | |
|------------------------|------------------------|---------------------|
| 1位・内谷 瑛/(株)IIH 横浜工場 | 2位・根崎弘崇/(株)IIH 横浜工場 | 3位・鈴木耕久/(株)東芝浜川崎工場 |
| 4位・松岡達也/富士電機(株) | 5位・斉藤拓哉/JFEエンジニアリング(株) | 6位・青木岳志/神鋼溶接サービス(株) |
| 7位・東 龍哉/JFEエンジニアリング(株) | 8位・佐藤健一/神鋼溶接サービス(株) | |

入賞者(得点800点満点)

(炭酸ガスアーク溶接) 1位~5位は優秀賞です(760点以上)、6位~15位は優良賞(720点以上)です。

- | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1位・中神貴紘/(株)東芝京浜事業所 | 2位・浅野 宰/(株)IIH 横浜工場 | 3位・藤田智大/富士電機(株) |
| 4位・小園勇紀/ジャパンマリンユナイテッド(株) | 5位・浦添 良/(株)東芝浜川崎工場 | 6位・田村 陸/JFEエンジニアリング(株) |
| 7位・野崎和也/住友重機械マリンエンジニアリング(株) | 8位・伊藤雅弘/三菱重工(株)相模原製作所 | 9位・伊佐優人/ジャパンマリンユナイテッド(株) |
| 10位・勝山大晃/三菱重工(株)相模原製作所 | 11位・伊藤文孝/神鋼溶接サービス(株) | 12位・鈴木一史/(株)総合車両製作所 |
| 13位・開発結衣/三菱重工(株)相模原製作所 | 14位・東迎晋太郎/住友重機械マリンエンジニアリング(株) | 15位・馬渡晋也/(株)東芝京浜事業所 |

第7回神奈川県高校生溶接コンクール

一 兼 第7回関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川代表選抜競技会 開催 一

平成27年11月7日(土)、下記の要領で第7回神奈川県高校生溶接コンクールが行われました。このコンクールは、日本の物づくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、これからの日本の製造業の若き担い手の育成を支援する目的で開催するものです。

- ・主催 一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・協力 (一財)日本溶接技術センター
- ・競技課題 溶接技能者評価試験(JIS Z 3801)の「A-2F」被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金付き下向き突合せ継手溶接
- ・判定 外観判定ならびに違反行為、不安全行為等の減点法、X線透過試験判定。
- ・後援 神奈川県工業高等学校長会
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター

神奈川県内6校の工業高等学校の生徒20名が、日頃の練習の成果を競い合いました。審査は外観試験と昨年度から、(一財)日本溶接技術センターのご協力のもと、X線透過試験を導入しています。

総合判定の結果優勝は、中島くるみさん(県立磯子工業高校)。2位は、夏林瑠伊さん(県立磯子工業高校)が入賞しました。今年度も昨年同様、優勝は女子が快挙を達成いたしました。中島さんと夏林さんのお二人は、第7回関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県の代表選手として参加することとなります。このコンクールに向けては、昨年の夏休み(平成27年8月24日~27日)を利用し県内の高校7校から、生徒19名、教師12名が参加して8月24日~26日溶接実技講習研修会をまた27日には非破壊検査の講習会を(一財)日本溶接技術センターのもとで開催いたしました。

また、中島さん、夏林さんは、平成28年3月28日~4月1日までの5日間、春休みを返上して(一財)日本溶接技術センターにおいて、関東甲信越大会へ向けて特別訓練をしました。



選手と関係者



一生懸命前加工をする選手

平成27年度(第61回)全国溶接技術競技会開催

溶接技量日本一を競う平成27年度(第61回)全国溶接技術競技会は、(一社)日本溶接協会・関西地区溶接協会連絡会・(一社)大阪府溶接技術協会の主催により平成27年10月17日(土)に開会式・競技説明会・選手懇親会を大阪・万博記念公園ホテル阪急エクスポパークで開催、18日(日)には競技会を大阪府摂津市のポリテクセンター関西に於いて開催されました。

参加選手は、被覆アーク溶接の部56名、炭酸ガスアーク溶接の部56名合計112名の選手が全国都道府県代表として溶接日本一獲得を目指して技を競いました。神奈川県代表は平成27年度神奈川県溶接技術コンクール被覆アーク溶接第1部、炭酸ガスアーク溶接第1部でそれぞれ1位2位になられた各々2名合計4名の選手が参加しました。

代表選手の成績は以下のとおりです。残念ながら優勝は出来ませんでしたが選手の皆さんは大変健闘されました。被覆アーク溶接で2名、炭酸ガスアーク溶接で2名と代表選手4名全員が下記のように入賞を果たしました。平成18年の被覆アーク溶接優勝と平成19年の炭酸ガスアーク溶接優勝の後、此処8年優勝から遠ざかってしまいましたが鈴木耕久さんは第2位と優勝にはあと一歩と大健闘でした。代表選手の健闘を讃えながら後に続く選手に期待したいと思います。

平成27年度の優勝選手は下記の通りです。

被覆アーク溶接の部 愛知県代表/堤 克明 トヨタ自動車(株)

炭酸ガスアーク溶接の部 愛知県代表/角掛 悟 トヨタ自動車(株)

平成28年度は10月8日9日、北海道函館市・ポリテクセンター函館で開催されます。

平成27年度神奈川県代表選手成績 (敬称略)

| 被覆アーク溶接の部 | | 炭酸ガスアーク溶接の部 | |
|---------------------|---------|---------------|--------|
| 内谷 瑛/㈱IHI 横浜工場 | 12位 優良賞 | 鈴木耕久/㈱東芝浜川崎工場 | 2位 優秀賞 |
| 草薙拓人/JFEエンジニアリング(株) | 19位 優良賞 | 中神貴紘/㈱東芝京浜事業所 | 9位 優秀賞 |



左から内谷さん、草薙さん、中神さん、鈴木さん



大学生による歓迎のセレモニー

第7回関東甲信越高校生溶接コンクール

第7回関東甲信越高校生溶接コンクールは下記の通り行われます。

- ・期 日 平成28年4月23日(土) 9時～16時
- ・会 場 神鋼溶接サービス(株)研修センター (藤沢市宮前100-1)
- ・競技課題 神奈川県と同様「A-2F」被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金付き下向き突合せ継手溶接
- ・参加者 東部地区の11溶接協会から推薦された高校生 22名
- ・判定 外観判定、超音波探傷試験、違反行為、不安全行為等の減点法

第7回目を迎えるこの大会も、回を重ねるごとに参加選手の技量も向上し、判定も非常に僅差の為難しく、判定委員泣かせの大会となっており、今年度からはルート間隔を3～5mmと厳格に規定し、規定外は再度タック溶接を行わせることとし、また超音波探傷試験を実施することになりました。

新年度幕開けに開かれるこの大会を通じて、若い力を存分に発揮してもらいたいと思います。



神奈川県優勝の
中島くるみさん



神奈川県2位の
夏林瑠衣さん

寄稿

タイドプールで自然と遊ぶ

株式会社タセト 吉野慎吾

春の日差しが暖かで、とても過ごしやすい季節になりました。ところで、“タイドプール”という言葉を知ったことはありますか？ タイドプールとは、磯や干潟などで、満潮時には海水に浸かっている部分が、干潮時に姿を現した際、くぼみ等に海水が残った水溜りのようなもので、潮溜まりとも言われている場所のことです。春から夏の終わりごろまでがベストシーズンで、自然と親しんで遊ぶことが出来ます。神奈川県では、三浦半島や真鶴半島、千葉県では南房総、静岡県では伊豆半島と休日に日帰りで行ける場所がたくさんあります。

タイドプールの魅力といえば、やはり、海の多くの生き物を間近で見られ、また、実際に手で触れることが出来ることでしょう。場所や時期にもよりますが、ヤドカリ、カニ、魚はもちろんのこと、ウニ、ヒトデ、ウミウシ、ナマコなど、とても多くの種類の生き物が見つかります。魚について言えば、メバル、メジナ、アイナメなど食卓にのぼる魚から、ベラ、カコカキダイ、ソラスズメダイ、そして時にはチョウチョウウオなど、水族館やペットショップでおなじみの魚の稚魚も目にする事ができ、網を片手に魚を追っていると、10種類を超える生き物を捕まえることができます。また、シュノーケルを付け、ほんの少し海中を覗けば、これらの成魚が群れを成して泳いでおり、そこにはまさに別世界が広がっています。とても身近な、すぐその海中で、これほどまでに多くの種の魚が生存していることには、驚かされるばかりです。

もうひとつの魅力としては、自然が相手ということもあり、そうは簡単に好条件が揃わないところでしょう。タイドプールで磯遊びをする好条件としては、①休日であること、②天気がいいこと、③波が穏やかなこと、④干潮時間のタイミングがいいこと、⑤大潮の前後であること、が挙げられます。①、②、③は言うまでもありませんが、④、⑤は非常に重要な要素です。前述のように、タイドプールは潮の干満が鍵を握る場所です。干潮時間が、早朝や夕方、夜中であっては、磯遊びは難しいでしょう。やはり、干潮時間が午前中～正午過ぎまでがいいでしょう。また、大潮(満月や新月の前後)は、干満の差が大きく、干潮時にはタイドプールのエリアも広がります。大潮の日などは、干潮から数時間で海水面が1m以上も上昇することがしばしばです。普段は全くと言っていいほど気にしない潮の干満、つまりは月の引力がこんなにも地球に影響しているものなのかと、改めて思い知らされます。

3つ目の魅力としては、事前の準備が欠かせない点かも知れません。最初の準備として、まずは潮の干満を調べる必要があります。気象庁のホームページに潮位表が掲載されており、各ポイントの満潮・干潮の時間、潮位など詳細な情報が得られます。これらの情報から、磯遊びが出来そうな候補日を絞ります。あとは、マリンシューズやグローブ、網やバケツなど、必要な道具を準備して、当日の天候が崩れないことを祈るのみです。

このように、磯遊びには多くの魅力がありますが、自然相手でもあり、危険が潜んでいることも、また事実です。磯、岩場には、足元の悪い場所が多いですし、フジツボで手や足を切ってしまうこともあります。また、イソギンチャクやウニ、ゴンズイなどの有毒な生物もいます。最近のニュースでは、フグ毒と同じ猛毒を持つヒョウモンダコが目撃例、捕獲例が報告されるなど、元来、日本近海には生存できなかった種もあり、地球温暖化の影響ではないかと懸念されています。さらには、好天であっても、波やうねりが高い場合には、気持ちを抑えて磯遊びを断念することも必要になります。

ここ最近タイドプールでの磯遊びも人気があり、本屋では雑誌や入門書も見つかります。また、インターネットでも、多くのページがあり、魅力とともに、遊び方や注意すべき点も詳しく説明されており、ハード面、ソフト面での準備が万端であれば、本当に魅力的な遊びであると思います。

これからの季節、磯遊びには絶好の時期となりますので、是非一度、お出かけになってみてはいかがでしょうか。



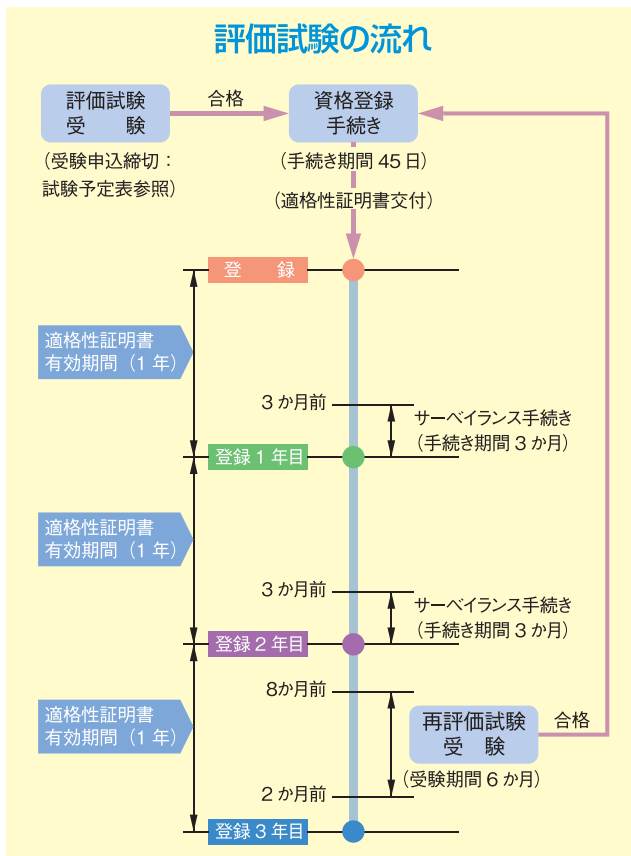
見学会の報告

去る平成27年11月13日(金)、神奈川県溶接協会の年中行事になっている見学会が行われました。参加者は22名でした。今回は、(独法)海洋研究開発機構横浜研究所と住友重機械マリンエンジニアリング(株)横須賀工場を見学しました。2015年4月現在、神奈川県内で稼動している大型船を建造できる造船所は4つあります。そのうち3つは横浜市(本牧/磯子/鶴見)、あと1つは横須賀市(追浜【住友重機械マリンエンジニアリング】)にあります。写真でタンクのように見える船を間近でまざまざと船体を見ると、とにかく大きく威圧感があり圧倒されました。



住友重機械マリンエンジニアリング(株)の記念写真と見学した大きな船

評 価 試 験 情 報



手溶接 実技試験要領

| | A-2F | A-2V | A-2H |
|-----------|--|--|--|
| 仮付 | | | |
| 溶接棒 | イルミナイト系φ4mm又は低水素系φ4mm | | |
| 電流その他 | 1層 180~190A (ストリングビード) 2層 170~180A (ワイピングビード) 3層 160~170A (低水素系では4層仕上) 4層 | 1層 125~135A (上進ストリングビード又はスモールワイピングビード) 2層 120~130A (上進ワイピングビード) 3層 115~125A (上進ワイピングビード) | 1層 160~170A (ストリングビード) 2層 (2パス) 155~165A (ワイピングビード) 3層 (4パス) 120~130A (ストリングビード) |
| 特に注意をすること | <ul style="list-style-type: none"> 1層目は特にアークを短かくするために、溶接棒先端カップを開先底面につけ、スラグを十分押えながら、ゆっくり進む。 最終層の前の層は母材表面から1mm程度の深さに調整するとよい。 | <ul style="list-style-type: none"> 1層目は溶接速度に注意して十分溶込ませる。 2層目は1層目のビード両止端部でアークを止めるようにし十分溶込させると同時にビードをできるだけ平にする。 最終層はアンダーカットに注意。 | <p>2層目のワイピングに注意しビード高さをそろえる。7パス目はアンダーカット防止のため、スラグが流れないように注意。</p> |

- 更新試験の受験期間が次のようになっています。更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり②の扱いは受けられません。②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。